

2. ヒメマス稚魚の放流

鈴木規夫・安部直哉

県内の漁業権河川については地元漁業協同組合で放流するニジマス稚魚の内1000kgを一般配布価格の半額で配布しているので、県内唯一の湖沼漁業協同組合のある芦ノ湖についても同湖の重要魚種であるヒメマスの増殖を行ない湖面の水産利用開発を進展させるために北海道さけますふ化場からヒメマスの発眼卵10万粒を購入し、元箱根の芦ノ湖漁業協同組合のふ化場でふ化飼育し、稚魚を放流した。卵のふ化と稚魚の飼育管理は芦ノ湖漁業協同組合が担当した。

購入した10万粒の発眼卵は昭和38年11月5日に北海道支笏湖で採卵されたもので、芦ノ湖漁業協同組合のふ化場で昭和39年1月20～21日にふ化し、4月3日に同湖の元箱根地先に放流された。ふ化飼育の概要は表5のようにふ化率95.1%、卵から放流までの生残率82.0%であり、82,000尾を放流した。

表 5 芦ノ湖に放流したヒメマス卵の飼育結果

発 眼 卵 購 入 先	水産庁北海道さけ、ますふ化場
卵 数	100,000粒
採 卵 場 所	北海道支笏湖
採 卵 月 日	昭和38年11月5日
発 眼 月 日	" 12月6～7日
輸 送 月 日	昭和39年 1月14～18日
ふ 化 月 日	" 1月20～21日
ふ 化 率	95.1%
飼 育 水 温	13.4℃(湧水)
放 流 月 日	昭和39年 4月 3日
放 流 場 所	芦ノ湖元箱根地先
放 流 尾 数	82,000尾
卵から放流までの生残率	82.0%